

登録コード	A3595439	開講年度	2026				
授業科目	専攻研究					担当教員	今井 裕理子
英文授業名	Thesis Research						
単位数	5	講義期間	前期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	4年生（研究室配属後の学生対象）
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	
備考						備考	教員内線電話：2509（AFC，研究室名：草地畜産学研究室）
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2022Aカリ，2021Aカリ，2020Aカリ，2019Aカリ						
	【2022年度以前加付対象】専門的な知識や研究能力を修得している					畜産や草地学に関する専門的な知識や研究能力を修得している	
	【2022年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している					地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している	
	2026A3編（24A），2025A3編（23A），2024Aカリ，2023Aカリ						
	【2024年度以前加付対象】専門的な知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。					畜産や草地学に関する専門的な知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。	
	【2024年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。					地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。	
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、環境共生						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	飼料作物や草地の管理とこれらを利用した家畜生産に関して、データの収集・整理、研究論文の作成と研究発表などの一連の活動を行い、植物・動物・土壌による資源循環とこれに立脚した畜産方式への理解を深める。						
(5)授業計画	AFC構内農場において放牧地、家畜、飼料作物を用いた研究テーマを順次拾い出して行うが、現在主に取り組んでいるテーマは次の通りである。 1. ソルガム類およびライムギを中心とした作物利用に関する研究 2. 放牧に関する研究 3. 草地造成・管理に関する研究 4. 地域資源や自給飼料を利用した飼養に関する研究						
(6)自主学習の指針	自ら主体的に動き、学んでください						
(7)成績評価の基準	研究室で現在取り組んでいるテーマについて、1)研究室全体のテーマの概要について理解し、2)各自が担当するテーマを選定し、3)その内容と研究の位置づけを確認することが求められる。1～3が十分に達成され、研究計画が提案でき、新規性が認められれば「卓越している」、1～3が十分に達成されていれば「かなり上にある」、1～3が概ね達成されていれば「やや上にある」、1～2が概ね達成され、論文が提出されれば「水準に達している」とする。						
(8)事前事後学習の内容	各自が取り組むテーマについては、事前・事後問わず情報の収集と整理を行って下さい。						
(9)テストやレポートの予定	最終年度に専攻研究として論文をまとめる。						
(10)成績評価の方法	取り組む姿勢で評価します。						
(11)質問、相談への対応および連絡先	質問は適宜受け付けます。 AFC草地畜産学研究室（AFC構内ステーション農場研究棟） TEL:0265-77-1610、e-mail:yuriko_imai@shinshu-u.ac.jp						
(12)履修上の注意	特にありません。						
【教科書】	特に指定しません。						
【参考書】	テーマに関連する文献・書籍を利用する。						